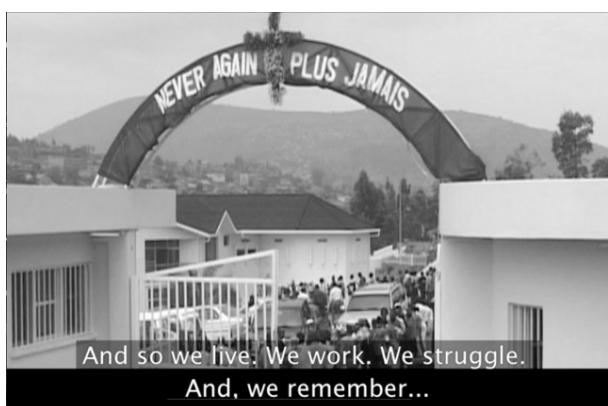


ヒロシマ平和映画祭 2013 「異郷の記憶」

広島市立大学社会連携プロジェクト「広島映画文化の遺産の継承にもとづく映像文化の創造」事業

ジェノサイドの後に映画を撮 ることはいかにして可能か？

——ルワンダ虐殺 20 周年を前に、ルワンダからの映画を考える——



2014 年、ルワンダは、100 万人に及ぶ人々が殺害されたというあの痛ましいジェノサイドが起きてから 20 周年を迎えます。その間映画は、虐殺の記憶をどのように伝えてきたのでしょうか。そして、映画をともに作ることは、共存の未来をどのように切り開こうとしているのでしょうか。今回のトーク・セッションでは、ルワンダで最近作られた優れた短編映画を中心に、現地で映画の理

論と実践を伝える研究者らのお話とともに紹介します。言語を絶する凄惨な出来事の後に、映画を撮るとはどういうことなのか、異郷ルワンダからの映画はどのような問いを投げかけているのか、今も撮られ続けている「ヒロシマ」の映画とも照らし合わせながら考えるひと時を、多くの方々と共有できれば幸いです。



日時：2013 年 12 月 7 日（土）18:30～20:30

会場：広島市まちづくり市民交流プラザ 6F マルチメディアスタジオ

ゲスト：ミック・ブロデリック氏（オーストラリア・マードック大学准教授）

イヴ・カムロンジ氏（ルワンダ・キガリ・ジェノサイド記念センター副所長）

上映予定作品：キヴ・ルホラホザ『告白』（2009 年）

イヴ・カムロンジ&ミック・ブロデリック『未来への希望』（2011 年）

他に、『ホテル・ルワンダ』（2004 年）などの抜粋を上映。

お問い合わせ：広島市立大学国際学部柿木研究室（Tel.: 082-830-1767）

ヒロシマ平和映画祭 2013 「異郷の記憶」ウェブサイト：<http://hpff2013.chobi.net/index.html>

まちづくり市民交流プラザ（広島市中区袋町 6-36）ウェブサイト：<http://www.cf.city.hiroshima.jp/m-plaza/>

画像上：イヴ・カムロンジ&ミック・ブロデリック『未来への希望』（2011 年）／下：キヴ・ルホラホザ『灰色の物体』（2011 年）